

静岡市立の2高校の在り方検討の開始

1 要 旨

静岡市立の2高校（静岡市立高校と清水桜が丘高校）について、最近の志願状況及び将来の15歳人口の減少予測を踏まえ、静岡市の地域特性を生かした特色ある学校としての在り方の検討を開始します。検討のため、有識者等による検討委員会を設置します。

2 現状・課題

市立の2高校は、2024 年3月にスクール・ミッション及びスクール・ポリシーを策定しました。それを実践すべく、「静岡市立高校では、大学等と連携し他者との協働による探究的な学び」、「清水桜が丘高校では地元の企業等と連携した実学的な学び」を充実するなど、各々が魅力ある学校づくりを推進しています。

一方、ここ数年の課題として、志願倍率が定員割れもしくはそれに近い状況になっていることがあげられます。（表1 参照）

加えて、2024 年9月に発表した静岡市将来人口推計では、このまま何も人口減少対策を講じなければ、15歳(中学3年生)人口は、2024 年3月末と比較して、2030 年3月末に約9%、2040 年3月末に約34%、2050 年3月末には約42%減少するとされています。

このため、現状のままでは、近い将来、志願倍率の定員割れが常態化することが予想されます。（表2 参照）

表1 志願倍率の推移

入学年度		2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
市高	普通 (7クラス)	1.27	1.17	1.28	1.19	1.22	1.32	1.21	1.27	1.16	1.22	1.29	1.01	1.02
	科探 (1クラス)	1.20	1.40	1.25	1.13	0.93	1.13	1.25	1.13	1.05	1.35	0.93	0.63	0.53
桜が丘高	普通 (3クラス※)	1.24	1.04	1.31	1.25	1.20	0.89	1.04	1.06	1.21	1.08	1.23	1.04	0.95
	商業 (3クラス)	1.20	1.09	1.28	1.26	1.28	1.16	1.18	1.12	0.88	0.86	1.10	0.83	1.03

【注】志願倍率1.05以下を網掛け（定員割れもしくはそれに近い状況）
※ 桜が丘高校普通科のクラス数は、2013(H25)～2020(R2)まで4クラス、2021(R3)～3クラス

表2

15歳人口の推計	15歳人口	2024.3の人数 に対する割合
2024年3月末 (2024年度入学)	5,725人	(100)
2030年3月末 (2030年度入学)	5,211人	(91.0)
2040年3月末 (2040年度入学)	3,782人	(66.1)
2050年3月末 (2050年度入学)	3,325人	(58.1)

【出典】
静岡市の人口統計、静岡
市人口推計（2024.9）

【次頁あり】

3 課題に対する取組

将来に渡り、市立の高等学校が未来の静岡の創り手を育む場であり続けるためには、これまでの延長線上で考えるのではなく、時代の変化を認識して、特色ある、魅力ある高校としてのあるべき姿、望ましい姿（2高校の在り方）を描くべき時期にあると考え、検討を開始することになりました。

まずは、有識者による「静岡市立の高等学校の在り方検討委員会」（以下「検討委員会」）を立ち上げ、在り方の基本方針を検討します。第1回検討委員会は4月下旬に開催する予定です。あわせて、教育局、総合政策局からなる庁内プロジェクトチームを立ち上げ、市としての考え方の検討を進めます。

検討委員会で検討した結果は、静岡市に提案いただき、その提案内容を参考に、市としての「2高校のあり方（案）」をとりまとめ、市民の皆様から意見を伺い、市の方針を決定する予定です。

4 検討委員会の概要

検討する事項	(1) スクール・ミッションおよびスクール・ポリシーに基づく魅力ある学校づくりの推進状況についての意見 (2) 従来の高等学校という既存の枠組みに囚われない、新しい学校（高校）の姿 (3) 新しい学校（高校）の規模
検討委員の構成	(1) 学識経験を有する者 (2) 学校経営に関し優れた知見を有する者 から構成され、合計5人の委員を想定しています。 その他、オブザーバーとして、静岡市立の2高校の校長や、市立中学校の校長等をお願いする予定です。
設置期間	2025年4月～2026年3月の1年間
実施回数・時期	5回実施予定（各回2時間程度） 4月 6月 9月 11月 1月（実施予定）

担当：教育局 教育総務課(054-354-2503)